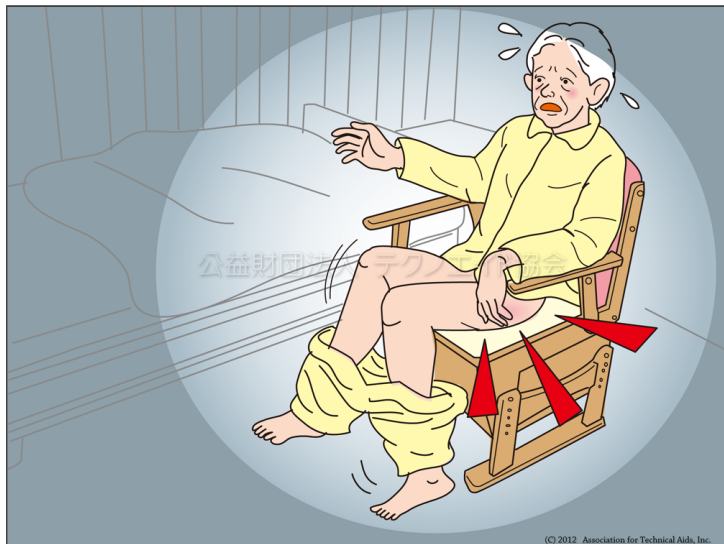


Case : 86

利用者の臀部がポータブルトイレの中に入り込んでしまう

場面の説明

やせている人が、体に合わない便座を使用していた



利用シーン	 排泄
	 夜間
主な利用場所	 寝室
	 トイレ
介護保険の種目	 腰掛便座
分類コード (CCTA95)	091203 (ポータブルトイレ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

標準的な大きさの便座でも、お尻の肉が落ちている人にとっては大きすぎる場合があります。無理をして使用し続けると、痛みが出たり皮膚に傷を作る原因にもなります。小さなサイズの便座や、便座の上に置くパッドなどの利用をお勧めします。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：利用者のお尻のサイズと便座のサイズが合っていない

環境：部屋が暗くて見えづらかった

日付：

所属：

氏名：

Case : 86

利用者の臀部がポータブルトイレの中に入り込んでしまう

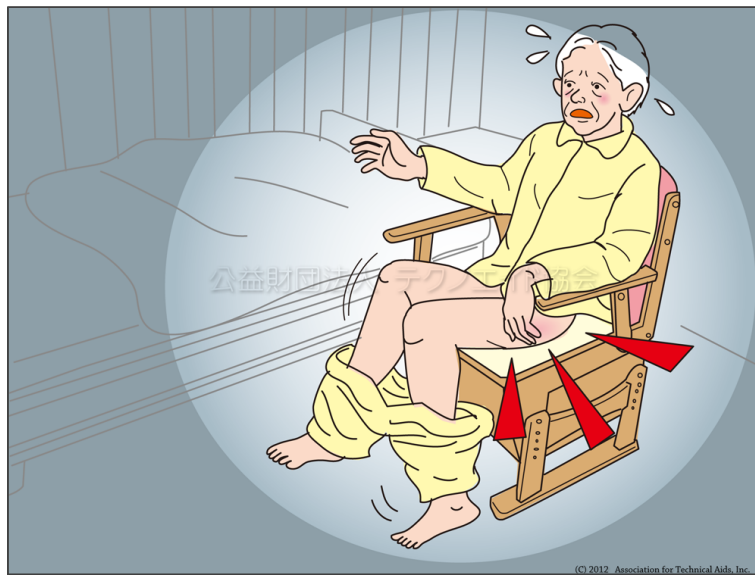
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

やせている人が、体に合わない便座を使用していた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ